



電子機械設計・製作 I

week 10

PoC設計・製作

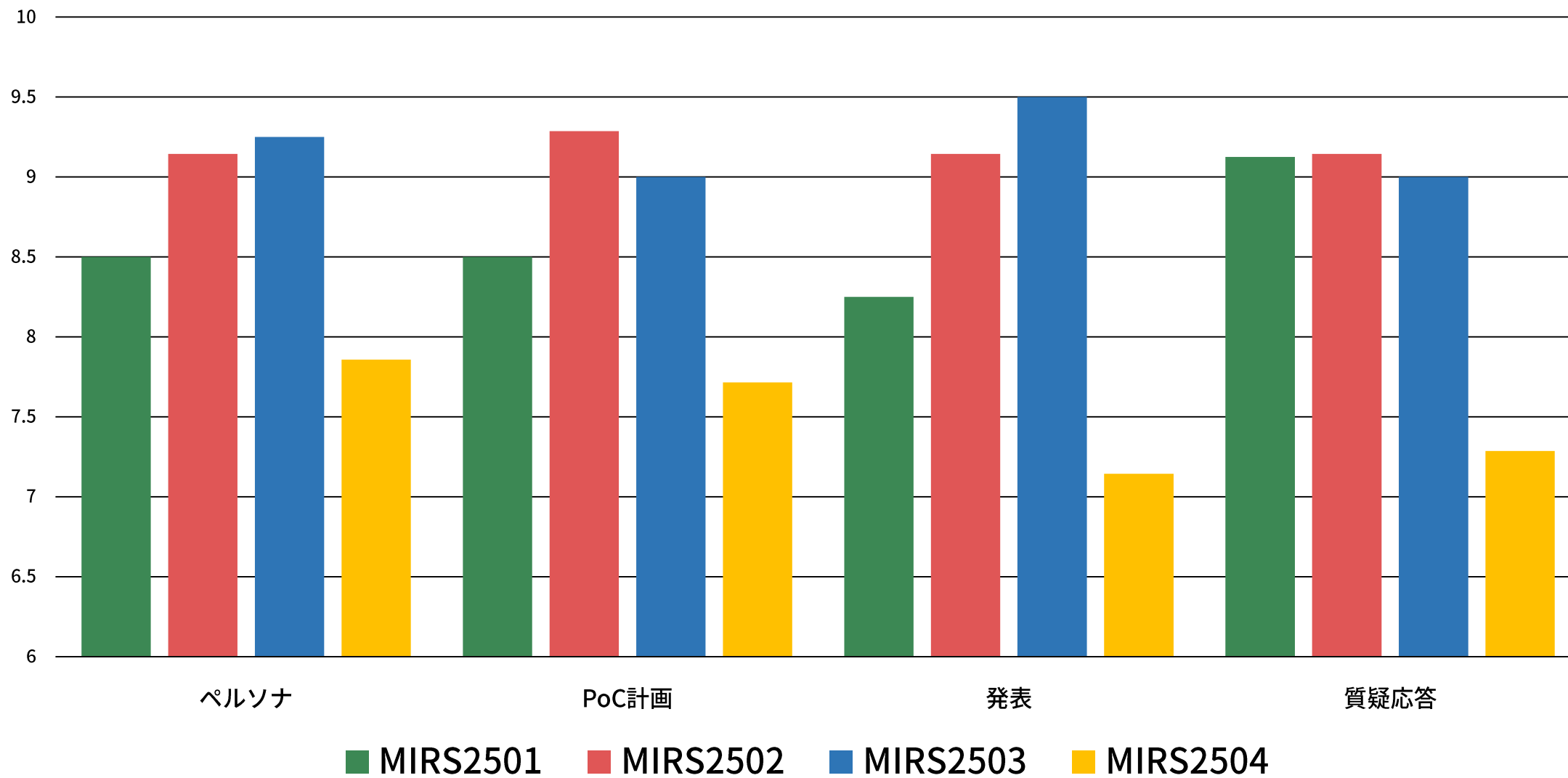
電子機械設計・製作 I （2単位：週1回4コマ）

Week1	4/11	ガイダンス・システム解説
Week2	4/18	チーム発表・システム解説
Week3	4/25	ニーズ調査
Week4	5/2	安全講習 / プロジェクト企画
Week5	5/9	プロジェクト企画
Week6	5/16	プロジェクト企画 / PoC構想
Week7	5/23	PoC構想
Week8	6/6	PoC構想
Week9	6/13	中間発表会
Week10	6/20	PoC設計・製作
Week11	6/27	PoC設計・製作
Week12	7/4	PoC設計・製作
Week13	7/11	PoC評価
Week14	7/18	PoC評価（ポスター発表）
Week15	9/26	前期まとめ / PoC振り返り

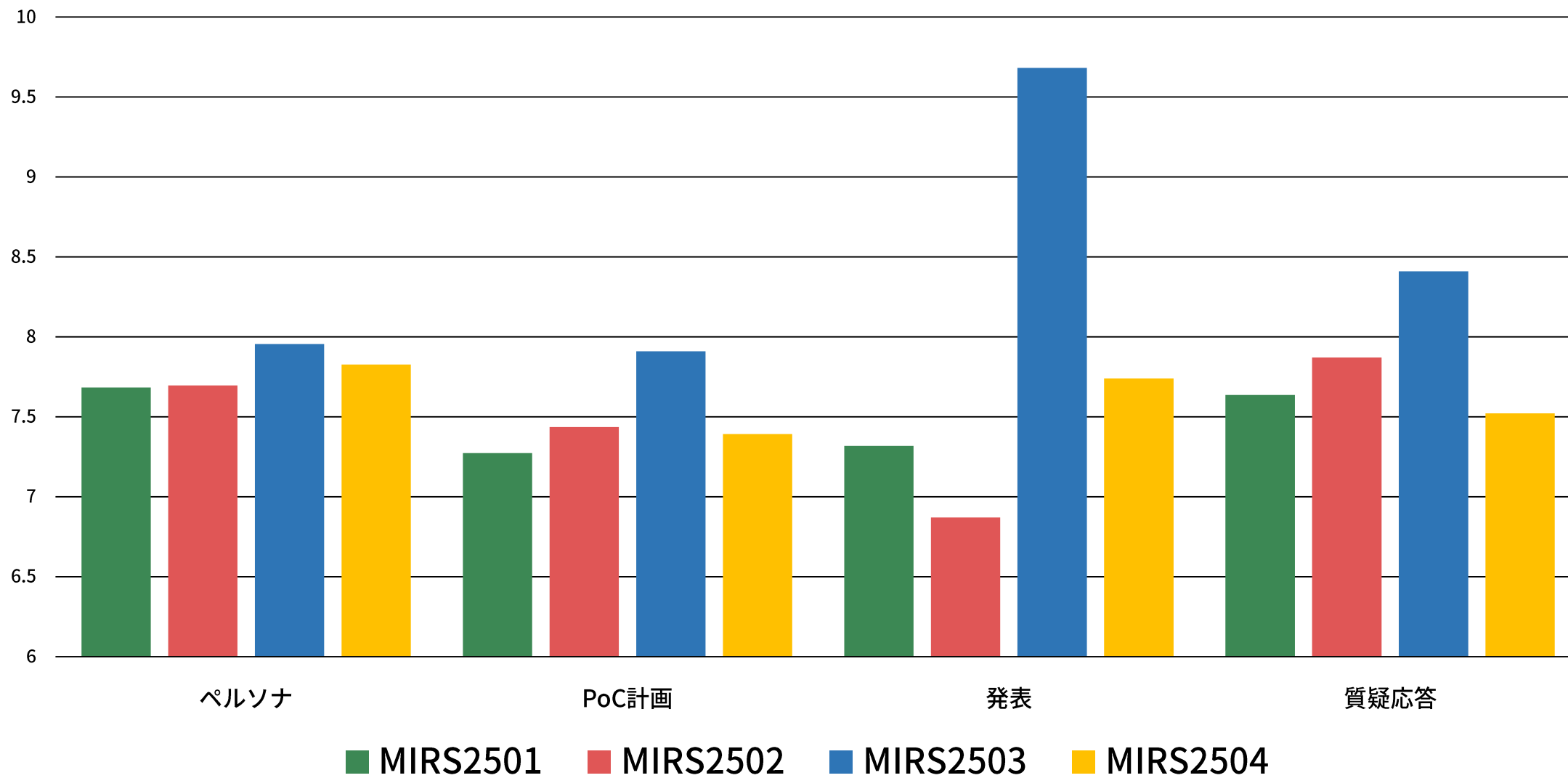
5/28 - 5/30
前期中間試験

7/25 - 7/31
前期末試験

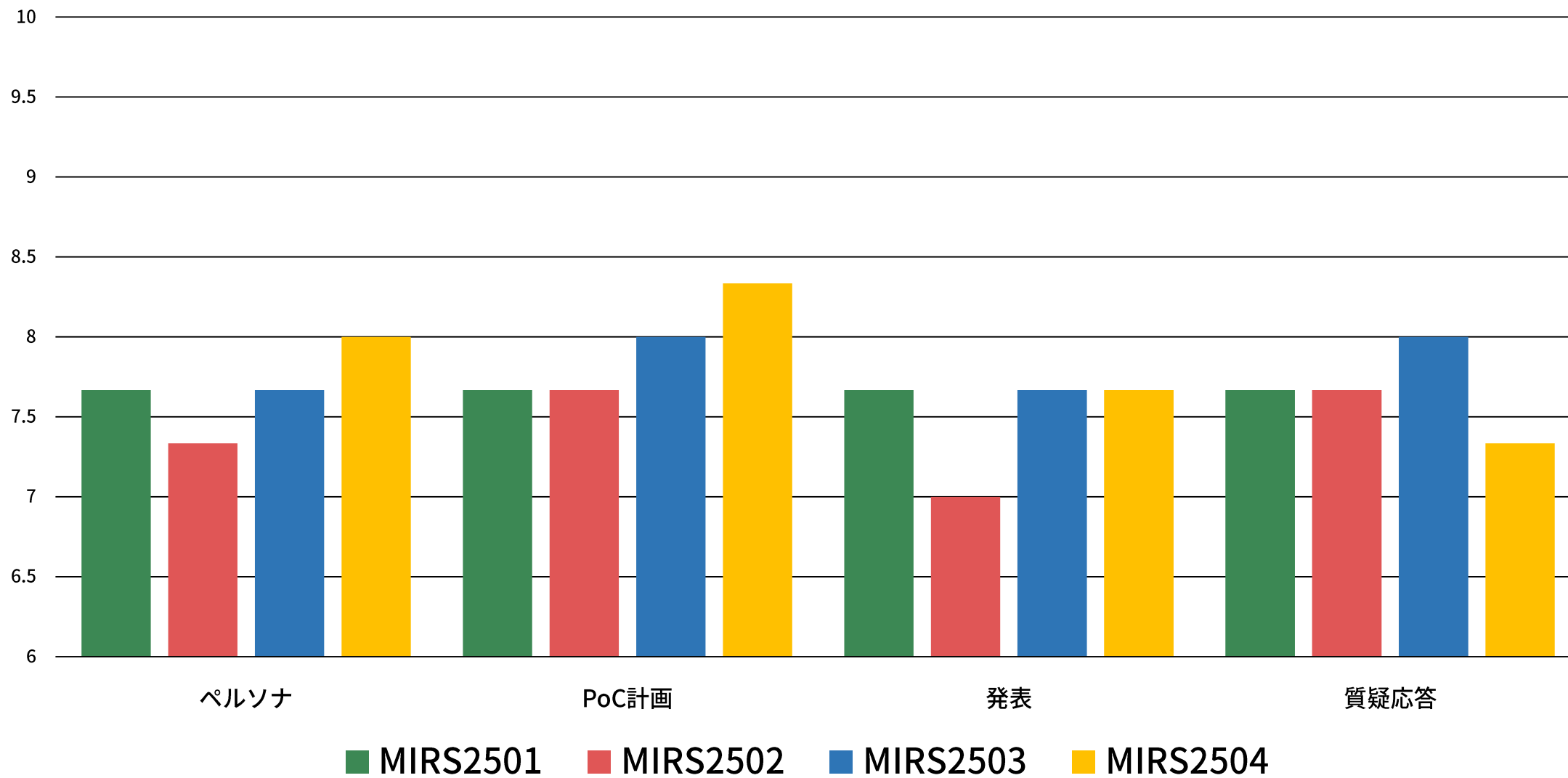
02 | 進捗報告会結果発表（自己評価）



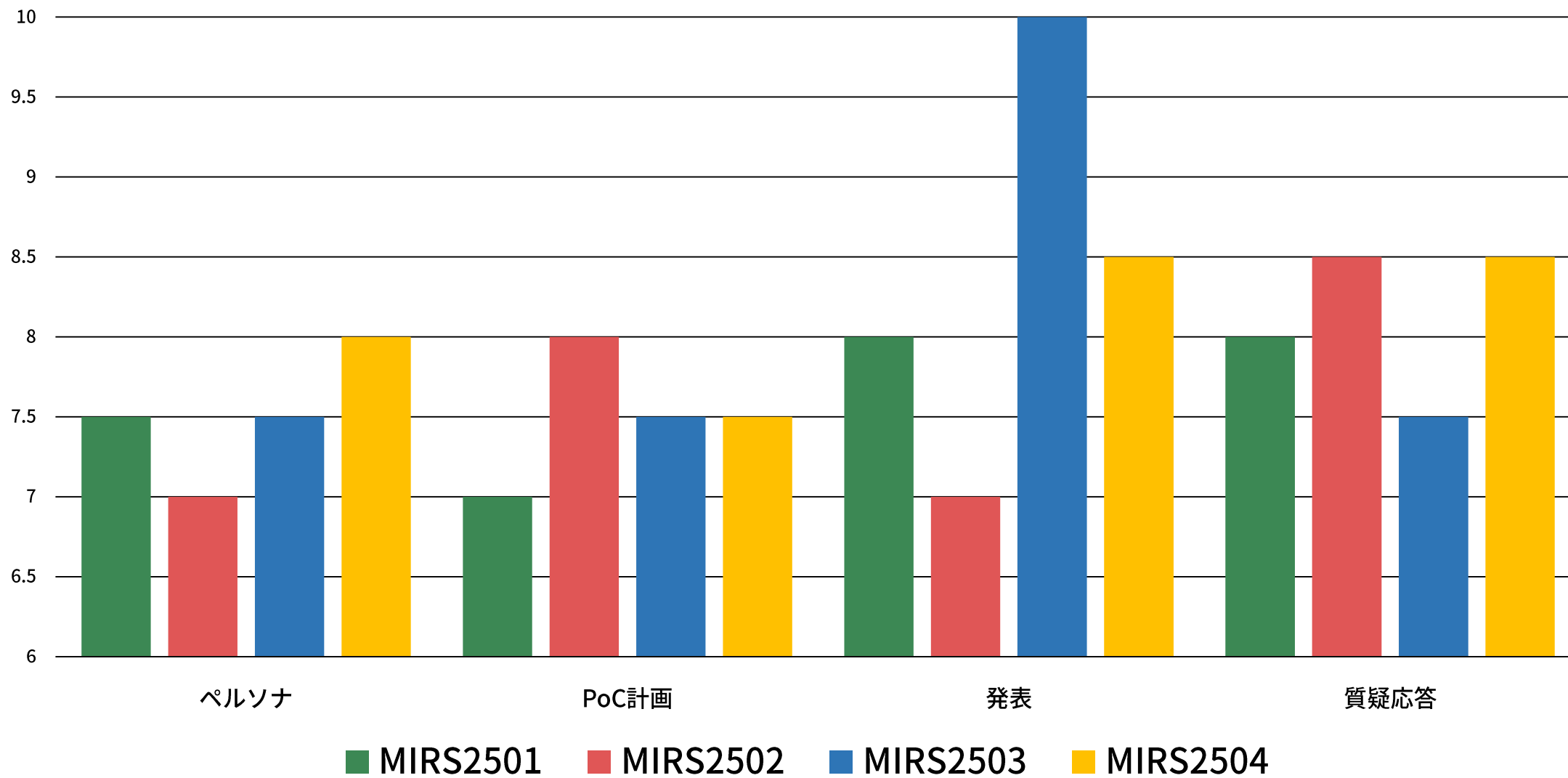
02 | 進捗報告会結果発表（相互評価）



02 | 進捗報告会結果発表（教員評価）



02 | 進捗報告会結果発表（三年評価）



チームごとの振り返り

進捗報告会の振り返りを実施してください

点数の高い、低いだけでなく、自己 / 相互 / 教員 / 3年評価のズレにも注目して議論

これからPoC設計・製作に向けて壁打ちとミーティングを繰り返してください

03 | ラボ安全チェックリスト



- 作業台の上が整理整頓されているか
- 工具が整頓されているか
- 共用工具がブースに残っていないか
- 床にゴミが落ちていないか
- 半田ごてのコンセントが抜けているか
- ケーブルが床に落ちていないか
- 延長コードのスイッチが切れているか
- 延長コードが下向きに取り付けられているか
- 状態表示のパネルが正しく付けられているか
- ホワイトボードにいたずら描きがないか
- 共用スペースが整理整頓されているか
- ゴミ箱にゴミが溜まりすぎていないか

作業中の物があっても帰るときには整理整頓を心掛けよう！

- **PoC評価** および **一日体験入学** 8 / 2（土）に使用する
- 大きさ：A0 2枚
 - パワーポイントのページ設定をA0（横841mm × 縦1189mm）に設定して作ると良い
- 他のシステム提案の資料内容と同期を取ること
- 次の顧客向け項目（目次の1～5）の内容を記す
- ポスターとしての見栄え・見易さ、説明のし易さなどを考慮して構成を決める
- 説明時間は3分を目安とする
- 背景色は使用しない（インク代が高い）
- レビューアーの確認を受けた上で、一日体験準備日8 / 1（金）までに印刷する

ポスターの目次

1. 目的
2. プロジェクトテーマ（由来、ロゴ）
3. 検証内容
4. 使用機材・技術
5. 成功基準（KPI）
6. リスクと対策
7. 外観イメージ
8. 主要な購入部品（全体価格の見積もり）

ポスター展示、デモ形式での発表・評価

自分たちのプロジェクトについてPoCの一部を発表する

ロゴや、プロジェクト名も併せて発表

実際に製作した試作や図面など、前期中の工夫を見せる

3年生、企業、教員で評価します

- 部品購入計画が承認されると発注が可能になる
- PoC設計・製作では必要に応じて**試作**を行うことが可能
- MG3 - 4 / ブースに残ったジャンク部品についてもルールに基づいて使用可能
(品番があるものは部品表へ)
- 部品の購入は「MIRS物品発表依頼票」に基づいて指定の取引先から発注する
→ 担当：資材部長 小谷先生

- PoCの検証にあたり、技術調査や試作が必要になる
- 試作は、ブレッドボードやモックアップ*を利用して試作モジュールを製作し、実現イメージを具現化することを目的とする

*モックアップ：

- 機能・性能を確認するための、必要最小限の外装を施した試験用パーツ
- 実機をイメージしやすいように手に取れる形で作られており、デザイン・サイズの把握に用いられる

- 毎回、作業開始時及び、終了時にチームミーティングを行い、その日の作業予定・結果について、チーム全体で情報を共有する
- 時間を取って、ミーティングを行う際は、議事録担当を決め議事録を取り、管理台帳にアップしておくこと
- 作業記録をこまめにつけること
 - 1日の作業で項目が異なる場合は、それぞれの作業時間、コードで登録すること
(最後に実施する工数分析で作業コードを利用する)
 - 作業コード
01：ミーティング 02：ドキュメントレビュー 03：ドキュメント整備
20：技術調査・試作 21：システム提案、開発計画立案